

すくすく園では、お子様が病気の回復期にお預かりしています。普段は元気いっぱいの子ども達も疲労で体調を崩すこともあります。ご家庭でもかかりやすい病気についての症状と正しい対応を知っていればあわてずに済みます。鳥取県中部感染症流行情報を参考にいただき、手洗い、消毒、うがい、マスク着用を徹底しながら病気に負けないように体調管理を心がけていきましょう。

鳥取県中部感染症流行情報

疾病名	第1週	第2週	第3週	第4週
インフルエンザ	○	○	○	★
感染性胃腸炎	○	△	△	△
水痘（水ぼうそう）	×	△	×	×
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	×	△	×	×
手足口病	★	○	○	○
ヘルパンギーナ	○	○	△	×
咽頭結膜熱	×	○	○	◎
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	★	★	★	★
流行性角結膜炎	×	×	×	×
マイコプラズマ肺炎	×	×	×	×
伝染性紅斑	×	×	×	×
RSウイルス感染症	△	△	△	△

★警報発令中

◎流行している

△散発

○やや流行している

×患者発生極少又はなし

今月の気になる病気

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（溶連菌感染症）

* 感染経路

- ・飛沫感染（口や鼻から感染）…咳やくしゃみ等で飛び散った菌を吸い込むことで感染します。
- ・接触感染（皮膚から感染）…皮膚と皮膚が触れたり、タオルや食器等を介して感染します。

* 潜伏期間

- ・約2～5日
- ・一般的に2～10歳の子供に感染しやすい病気です。大人でも感染します。
- ・一度感染して治っても、繰り返しかかります。
- ・薬をきちんと服用すれば、24時間以内に感染力がほとんどなくなります。

* 症状

発熱・のどの痛み・腹痛・発疹・莓舌・吐き気

これらの症状が全て現れるわけではなく、人により症状が異なりますが、高熱、のどの痛みが出て、扁桃腺が腫れ、その後、全身に発疹が出たり、舌にイチゴのようなブツブツが現れるのが特徴です。

* 治療

きちんと服用すれば、2～3日で症状がよくなりますが、よくなったからといって薬の服用をやめてしまうと、再発し、急性腎炎・リウマチ熱・血管性紫斑病・中耳炎・気管支炎などの合併症を引き起こすこともあります。必ず、処方された期間は薬を服用しましょう。

